

K5 / VSSP 実時間 VLBI システムの現状

Current Status of the K5/VSSP Real Time VLBI System

情報通信研究機構

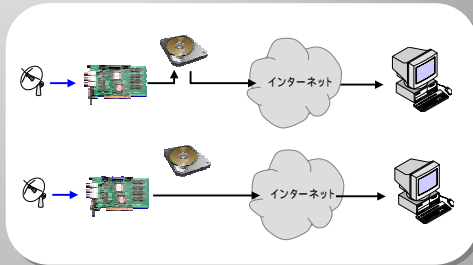
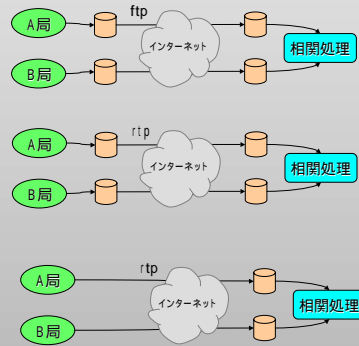
近藤哲朗、小山泰弘、竹内 央

情報通信研究機構で開発したPCベースのVLBI端末「K5/VSSPシステム(旧称IP-VLBIシステム)」は、インターネットを利用した実時間VLBIを目標としたシステムである。システム開発は1)観測データをハードディスクに蓄積し、観測終了後、データをネットワーク(インターネット)経由で転送し相関処理を行う、2)観測データをハードディスクに蓄積すると同時にネットワーク速度に応じた速度で転送し相関処理を行う、3)観測データを直接ネットワーク転送し、相関処理を行う、という段階を踏んで行われている。現在、開発は第2段階を迎えており、第3段階も試験的に行われている。本報告ではこうしたK5/VSSP開発の現状および将来計画について述べる。

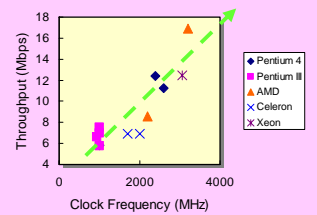
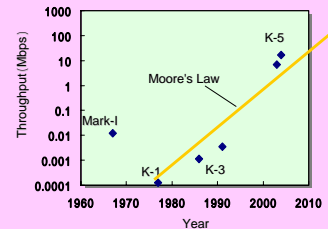


オフラインVLBI

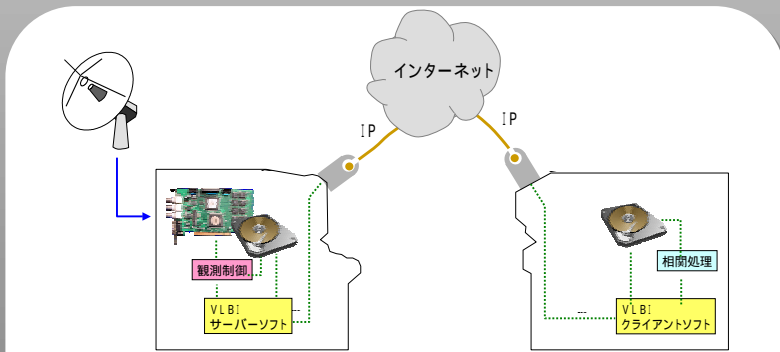
実時間・準実時間VLBI



XFタイプソフト相関器の処理速度

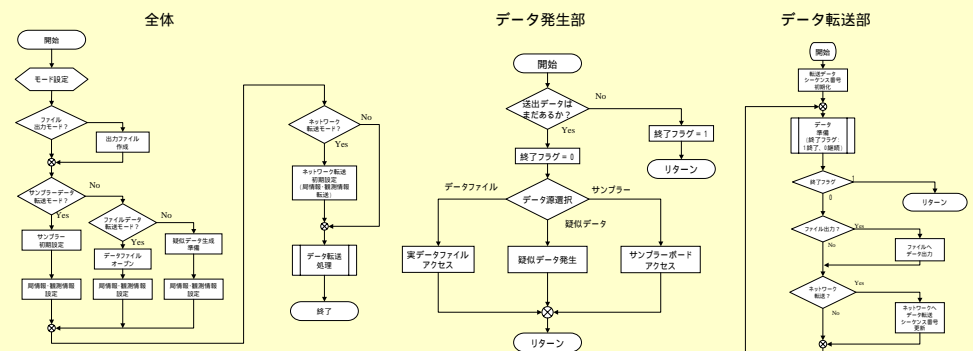


インターネットVLBI (K5/VSSP) サーバ・クライアントソフトウェア



観測側PCでVLBIサーバソフトが動作し、相関処理(またはデータ収集)側PCでVLBIクライアントソフトが動作する

サーバソフト フローチャート



クライアントソフト フローチャート

